

カタクリとズミの花咲く道

奥獅子吼山

現在、スカイ獅子吼のある山は正確には後高山であり、本来の獅子吼はこの奥獅子吼あたりを指すといわれています。

泰燈大師が白山開山の途中に、今の獅子吼高原近くに止宿したことが名の由来とも言われている。眼下には手取扇状地を望む。山麓からの登山道もあるが、ゴンドラでスカイ獅子吼まで登れば、高低差の少ない快適な尾根歩きが楽しめる。春は新緑の中カタクリやズミの花が見事に咲きそろい、秋になるとアケビ街道といわれるほど豊かな葉の山道を楽しめる。

- | | | | |
|---|---|--|---|
| <p>〈ミズナラ〉
花は4~5月。葉の柄はたいへん短く、ポンプリは長さ2cmくらゐ大きい</p> | <p>〈ホオノキ〉
5~6月大型の白い花を咲かせる。葉は大きく、食物を恐るに憚る</p> | <p>〈タニウツギ〉
花は5~6月。淡紅色で美しい。葉の裏は毛が覆生して白く、日当たりのよい所に生える</p> | <p>〈ヤマカタバシ〉
木陰にひびきと咲く。清潔な花。葉は白から淡紅色まで。</p> |
|---|---|--|---|

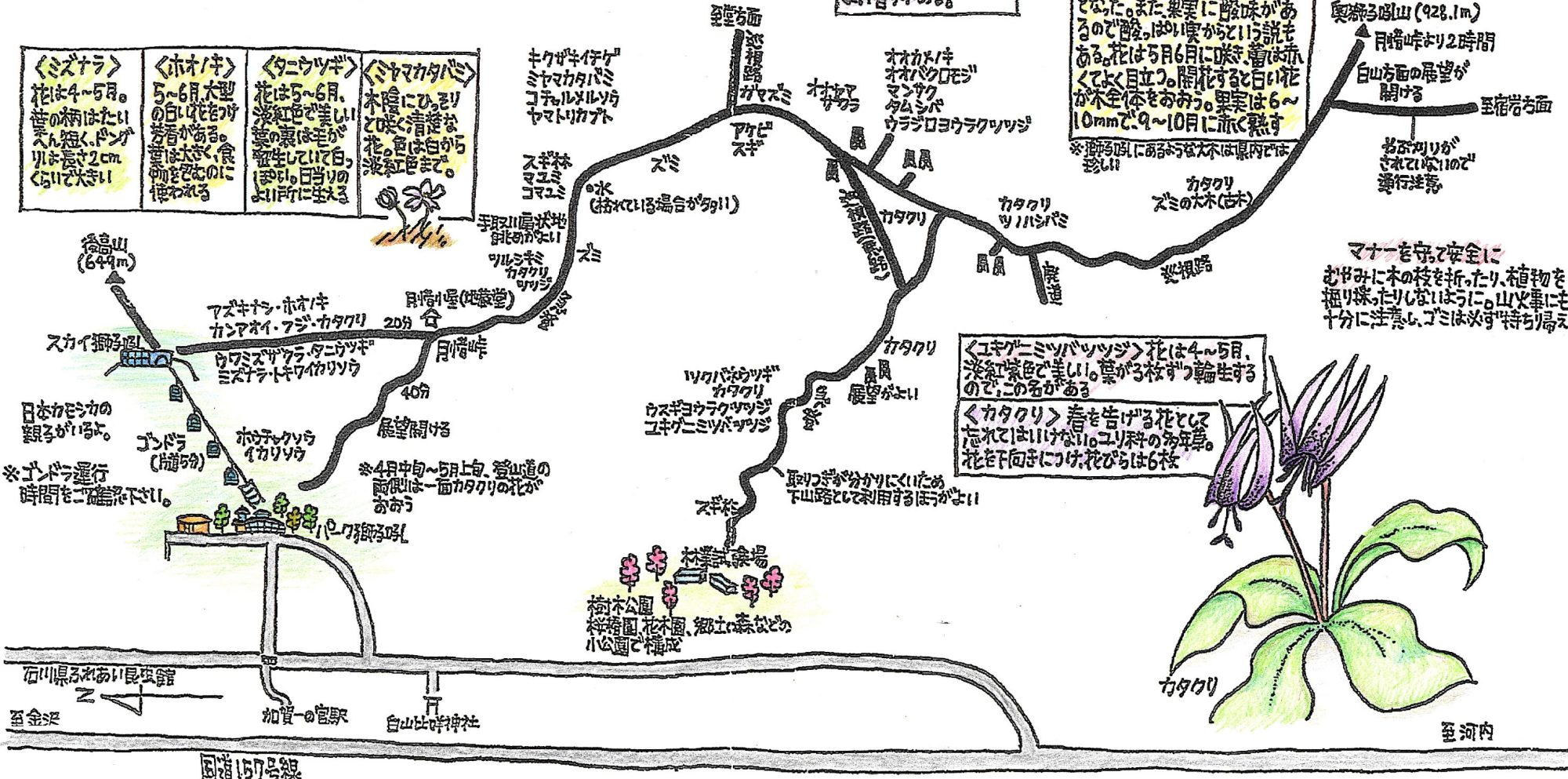
- 〈マンサク〉**
早春に他の木に先き咲いて「まぎ」味、かきまて、この名が付いた。咲くと豊年満作になると言われている。
- 〈オオバクロモジ〉**
花は4~5月。葉は黒く、若葉は緑色でよい香りがある。

〈ズミ〉 別名コリンゴ、コナシ、シツバカイドウと呼ばれ関東地方に多い。樹皮から黄色の染料をとるため、「染み」がズミの語源となった。また果実に酸味があるので、酸っぱい栗からという説もある。花は5月6日に咲き、蕾は赤くてよく目立つ。開花すると白い花が木全体をおおふ。果実は6~10mmで、9~10月に赤く熟す

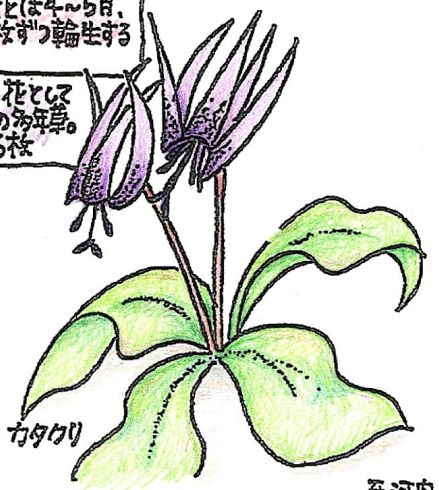
※獅子吼にあるズミの木は県内では珍しい



奥獅子吼山 (928.1m)
月啼峠より2時間
白山方面の展望が開ける
至宿岩方面
お花見ができてはじめての通行注意



- 〈ユキゲニミツバツツジ〉** 花は4~5月、淡紅紫色で美しい。葉が一枚ずつ輪生するので、この名がある
- 〈カタクリ〉** 春を告げる花として忘れてはいけない。ユリ科の多年草。花を下向きにつけ、花びらは6枚



マナーを守って安全にお花見に木の枝を折ったり、植物を揺り壊したりしないように。山火事に十分ご注意ください。ゴミは必ず持ち帰りましょう。